2026年10月20日

報道関係者各位

映画『春の香り』
harunokaori

クロアチア・ザグレブ開催「第4回日本映画祭」
日本クロアチアグランプリ賞 受賞

愛知県江南市で育った少女の実話をもとにした青春映画
監督・主演・プロデューサーから喜びのコメントが到着

このたび、映画『春の香り』（監督：丹野雅仁、主演：美咲姫＝現・実咲ふゆ、企画・製作：TTGlobal、配給・宣伝：ポルトレ）が、2026年10月16日（金）から18日（日）アドリア海に面した歴史と文化の国・クロアチアの首都ザグレブで開催された「第4回日本映画祭」において、「日本クロアチアグランプリ賞」を受賞いたしました。

本作は、脳腫瘍と闘いながら漫画家を目指し、18年の生涯を生きた坂野春香さんの実話をもとに、フィクションとして紡いだ青春映画です。恋をする喜び、夢を描く時間、家族との日々を通して、ひとりの少女の「生きたい」という願いを描きました。

日本クロアチア協会が主催する同映画祭は、日本映画の紹介を通じて両国の文化交流を図る催しで、今回が第4回。前年の同賞は『劇映画 孤独のグルメ』が受賞しています。本作初の海外上映には丹野監督が立ち会い、観客とともに鑑賞しました。

家族がつづった記録から、一つの映画へ

原案は、坂野貴宏・坂野和歌子による「春の香り 脳腫瘍と闘い、十八歳で逝ってしまった最愛の娘へ」（文芸社）。娘の闘病と家族の日々を記した書籍を出発点に、堀ともこプロデューサーが企画を進め、丹野雅仁監督が映画化しました。

撮影は、春香さんが生まれ育った愛知県江南市を中心に実施。2025年3月の国内公開を経て、今回の海外上映と受賞に至りました。丹野監督によると、父親と家族のやりとりに笑いが起こり、上映後には多くの観客が手を挙げ、作品に出会えた喜びや感動を伝えたといいます。次頁では、監督が寄せた現地上映の報告を紹介します。

映画『春の香り』は現在、各動画配信サービスにて配信中。配信先一覧は下記リンクにて。
https://lnk.to/H_n_K

作品情報

監督：丹野雅仁　脚本：カマチ
プロデューサー：堀ともこ
出演：美咲姫（現・実咲ふゆ）、篠崎彩奈、松田一輝、
平松賢人（BOYS AND MEN）、
笠井信輔（特別出演）、佐藤新（IMP.）、
櫻井淳子
主題歌：山本雅也「ハルカ」
企画・製作：TTGlobal　配給・宣伝：ポルトレ
2024年／日本／102分

プレス素材・お問い合わせ

公式サイト
https://harunokaori-movie.com/

プレスキット
https://x.gd/l3IHS8（映画祭の様子等）

株式会社ポルトレ　担当：石原
メール：info@portrait-c.com
電話：03-6456-3990

©TTGlobal　企画・製作：TTGlobal　配給・宣伝：ポルトレ

報道関係者各位

2026年10月20日

PORTRAIT

『春の香り』関係者コメント・現地写真

丹野雅仁／監督　初の海外上映を終えて

「春の香り」の初の海外上映をザグレブで、クロアチア語字幕で見ました。この映画がこの地でどう見られるのか心配でしたが、それはまったく杞憂でした。ハルカのお父さんがキャラ弁の蓋を開けるところで最初の笑いが起きました。ハルカとお母さんが土手を歩くシーンで密かな嗚咽が聞こえました。「伝わっている」感覚に鳥肌が立ちました。上映後は、客席から次々と手が上がり、みんな積極的に、自分が感動した場面、この映画に会えて良かったこと、などを伝えてくれます。僕は感激してしまい「この映画を見たこと、そして感じたことを帰って家族や恋人に話して下さい」と通訳してもらうことしかできませんでした。キャスト、スタッフ、そしてこの映画に関わったすべての人とこの喜びを分かち合いたいと思います。ありがとうございました。

主人公ハルカを演じた美咲姫＝現・実咲ふゆ　受賞の喜びを語る

私は、「人の心に何か残したい」という坂野春香さんの生前の想いを、藤森ハルカという役を通して叶えたい一心で撮影に臨んでいました。
日本全国の皆さまのおかげで各地で上映が叶い、多くの方々に想いを届けることができたと感じています。
この作品が海を渡りクロアチアという離れた地で上映され、グランプリという素晴らしい賞をいただきました。
春香さんの想いを世界へ届ける第一歩を踏み出せたことを、本当に嬉しく思います。

堀ともこ／プロデューサー

クロアチア映画祭でグランプリをいただき、心からうれしく思います。この作品を支えてくださった皆さまに、深く感謝申し上げます。私の最初の作品『いちばん逢いたいひと』は、私と娘の実話をもとにした映画でした。白血病を患った娘が骨髄移植を受け、今を生きている。その経験が、私の映画づくりの原点です。
坂野さんの著書を読んだとき、人は何のために生まれ、何を残して逝くのかを考えました。そして、亡くなった後も、その人が生きた証や想いは誰かの中に残っていくのだと感じ、『春の香り』の製作を決意しました。丹野監督と二人三脚で、ただひたすら、命に誠実に向き合う作品を届けたいと考えてきました。受賞を機に歩みを振り返ると、どれほど多くの方に支えられてきたかを、改めて実感しています。この栄誉を、皆さまと分かち合えたら幸いです。
映画『春の香り』が、これからもたくさんの方の春を彩ることができますように。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

クロアチア・ザグレブ　上映会場／賞状

第4回日本映画祭　2026年10月16日（金）～18日（日）
会場：CineStar Kaptol Boutique Cinema　主催：日本クロアチア協会

舞台挨拶の際に登壇する丹野雅仁監督（右）

©TTGlobal　企画・製作：TTGlobal　配給・宣伝：ポルトレ